

生協の現況 2019.3.1現在

組合員	32,881人
出資金	15億6,011万円
一人平均	47,447円

2018年度増加	
組合員	1,201人
出資金	9,723万円



一人は万人のために万人は一人のために

2019年
(4月号)
第476号

東京ほくと医療生活協同組合
住所 114-0003 北区豊島3-4-15
発行 「東京ほくと」編集委員会
☎03 (3913) 9100
Home Page : <http://www.t-hokuto.coop/>

健康づくりの輪を大きく広げる

地域をささぐえ地域にささぐえられた赤羽東診療所

赤羽東診療所は3月末日をもって30年の歴史を閉じました。ありがとうございました。

「春のつどい」健康チェック会

3月2日に恒例の健康チェック会「春のつどい」を行いました。「寒い時期には室内で健康チェック会をしよう」とふれあい館で始めた「春のつどい」、今年もは診療所とお別れということで診療所のフロアを使って行いました。お友達と誘い合って来てくださった方、ほっとカフェ



診療所入口で春のつどいの受付

エの常連さん、休診だったのでが間違えて「薬をもらいに来た」という方もチェックして、33人の方に参加していただきました。区の健診項目にはない骨密度測定、血管年齢チェック、尿の塩分チェックなど

健康チェック会 春のつどい



春のつどいスタッフと職員

診察室で血圧測定



活動の中心となる「ほっとカフェ」

運営委員会ではこの志茂赤羽の地域で何が出来るか、何をすればよいかを考えているところです。健康まつり・春のつどい・赤羽文化センターまつりや「ほっとカフェ」の周年お楽しみ焼き大会など今までどおりの行事はもちろんのこと、地域の皆さまや組合員の皆さまのご協力をいただきながら元気で楽しい医療福祉生協活動を続けていこうと考えています。

すべて終わった方は「ほっとカフェ」で休憩していただきました。コーヒーやお菓子、手づくりケーキでおもてなし。「初めてカフェにきました」という方も皆さんと楽しくお話をして行かれました。



骨密度を測る津久井事務長と談笑



この前に北診療所行きの送迎車が止まります

患者さんの転院相談に関わって

午後2時)が定例で開かれます。月1回の「楽しい脳トレ教室」も野島先生が考えてくださっています。これからもどうぞよろしくお願いたします。(理事・浜野 妙)

「ほくとになる前から40年近くも家族でここに通院しています。ここだから通ってこられた、今後どうしたらいいでしょうか?」「玄関前に倒れていたところを助けてもらってそれ以来お世話になっていきます。本当に残念です」。この間、転院先のご相談の中で聴かせていただいた患者さんの声の一部です。

長い間、診療所が地域の方々に頼りにされ、多くの組合員さんに支えられていたことに改めて感謝するとともに、閉院後もこの地域で組合員さんと共に活動を広げていきたいと思えます。「くらしの保健室」では、医療介護の相談、日常的な看護ケア、簡単な健康チェックを実施していきこうと準備しています。(看護部長・高橋朋子)

王子生協病院は「無料低額診療」事業を行っています
医療費でお困りの方はご相談ください
☎3912-2201

注射器

3・11あれから8年。今なお遅々として進まない復興や、福島第一原発の廃炉は、それまでに尚、数十年自然エネルギーに転換を言う国民の声を背に向けて、「安全神話」をくり返し再稼働を強行し補償を打ち切るアベ政権▼過半数の国民の声に耳を貸さず私たちの生活や日本をどこに持って行こうとするのか。原発・沖縄の辺野古基地造り・消費税10%への引き上げ。外交ではロシアとの領土交渉・北朝鮮の拉致被害者の救済も暗転を続ける。そして最も大きな憲法9条の改憲▼米トランプの従順な手下となって、高額な兵器や戦闘機の爆買で税金を湯水の様につき込み、軍事予算は過去最大。核兵器の廃絶には背を向けたまま▼社会保障の削減や国民生活の切り縮めは、戦争への第一歩とは歴史の教訓。アベ政権は、何としても自衛隊を憲法に書き込み、「先制攻撃こそが国を守る」とまで言い始めている▼今年には選挙の年、4月は一斉地方選挙、7月は参議院選挙が行なわれる。モリカケも決着せず労働統計の不正や、何をしてもどんな暴言を吐こうが何も責任を取らない風潮は、社会全体の緩みや凶悪な犯罪を生み出している。軽薄な答弁やごまかしは、もう見たくない。多くの市民と野党の共闘で、国民として恥ずかしいアベ政権に退陣してもらいたいかい大きな力を。(よ)

理事会だより 3月23日

理事長あいさつ

今泉 貴雄

赤羽東診療所の閉院

法人にとり残念なことで...

赤羽東診療所は北区志茂の地域で医療活動を30年に...



3月16日、王子生協病院医療活動交流会が開かれ、14演題の報告があり、職員51人が参加しました。



王子生協病院 医療活動交流会

《理事会議事録要旨》

報告事項

①2月組織活動報告・組合員加入61人、脱退90人、出資金増資1,935万円、増資者855人、班会開催76回、2項組合員なし。年間目標達成にむけて地域行動を。便潜血チェック626個販売。荒川ラインウォークはエントリーシートで申込を。4月を「健診計画月間」として計画表配付。4/26健康チェック学習交流会。高齢者大会実行委員会立ち上げ。5.3憲法集会参加要請。鹿浜・さくら荘サロン開設。事業所利用委員会各事業所からの報告を確認。②2月決算報告。③王子生協病院、診療所群、訪問看護ステーション、福祉事業部報告。④年度末一時金・春闘要求。⑤全日本民医連、東京民医連の理事会。⑥今泉理事長に「チーム・ミナマタ」会議参加要請。⑦まとめと方針作成準備委員会。⑧組合員集会和議案説明会日程。⑨赤羽東プロジェクト。⑩新入職員研修。⑪天皇即位に関わる休日診療体制。⑫消費生活協同組合の政治的中立。以上報告された。

◎王子生協病院は、個室も含め全室差額ベッド料はいただいております。

厳しい状況が続いていたようですが、地道で熱心な組合員活動もあり、現在は経営的にも悪くないなかで、医師体制上の問題から閉院せざるをえなくなったことは、法人幹部として大変申し訳なく思います。

これまでも地域で支えてくださった組合員の方、また職員の方、本当にありがとうございます。この場をかりて感謝申し上げます。法人としては、地域での組合員活動が引き続き行われるよう協力していきたいと思っております。

2018年度の振り返り

2018年度も終わりますが、どのような活動・特徴であったか、法人としての総括とは別にして、私なりに振り返りたいと思っております。

王子生協病院では障害者病棟を地域包括ケア病棟へと転換し、外来では小児科に常勤医が加わりました。

次年度に向けてのこととはなりますが、複数の診療所で所長医師の交代があります。その背景は様々な要因があり、一つには医師研修の制度上の問題から医師労働がこれまで以上に流動的になっていくこと、また開業等を希望するなどの人生設計上の問題もありません。しかし、医師に対する処遇上の問題も背景にあり、常勤医師が続けられる職場づくりの解決も重要な課題となっております。その認識のもと、医師の時間外勤務の改善にむけて一歩前進させました。この医師労働の問題は次年度へも引き続き大きな課題となり解決が急務となっております。

地域での、ことも食堂や、各種カフェ、サロンなどに代表されるような様々な取り組みが行われていることを再認識し、今後さらなる発展になるよう組合員活動を支えていきたいと思っております。

他にもいろいろあります。法人としての総括を行いますので今日はこれくらいにします。

4月1日には新入職員をこの場に迎え入れ、新たな年度がはじまります。また5月には新しい元号に替わります。平成から新しい時代へと法人を進めるべく活動を強化できるよう頑張りたいと思います。

なお4月には一斉地方選挙もあります。地域住民の健康を守るためには、一つの手段として、自分たちの声を政治に反映させることが重要ですので、その取り組み、対応もお願いいたします。

中、経営的な改善もすすめるべく努力がされておられ、その効果も見えてきております。

新しい仲間とともに活動を強化

3月10日に王子駅前三角公園で開かれた集会は全体が300人で、参加者からは、今も続く福島避難生活や原発安全神話のウソなどが発言され、午後2時46分の黙とうに続いて、「子に孫に命をつなぐ！原発廃止」原発なくせは核廃絶の一里塚などの原発ゼロに向けての想いが書かれたプラカードを持って王子五丁目団地までパレードしました。

同会場では、9月に開かれる日本高



さよなら原発パレード



王子駅頭での300万署名行動

さよなら原発 in 飛鳥山にほくとから70人

3月10日に王子駅前三角公園で開かれた集会は全体が300人で、参加者からは、今も続く福島避難生活や原発安全神話のウソなどが発言され、午後2時46分の黙とうに続いて、「子に孫に命をつなぐ！原発廃止」原発なくせは核廃絶の一里塚などの原発ゼロに向けての想いが書かれたプラカードを持って王子五丁目団地までパレードしました。

王子駅頭で300万署名行動

3月11日、王子駅頭で9条改憲NO署名宣伝行動が行われました。参加は東尾久支部から組合員2人を含む7人でした。

医療と介護の現場

まずは関係を築くことからサービス提供へ



66歳男性のさん身寄りなした。肝臓癌、自宅で転倒し恥骨骨折で入院してしましたが、入院を拒否し強制退院しました。介護保険を申請したものの、サービスを全部拒否。ケアマネジャーを要更とのことで北区の療養相談窓口よりプランの依頼を受けました。

担当当初、サービスを決定するが否やすぐにキャンセル。易怒性や奇行もあり、病気によるものなのか、性格的なものなのか、精神疾患によるものかを探りながら関わりをしてい

その後、肝性脳症にて入院となりました。治療後状態も落ち着き、在宅サービス院の繰り返しで、その都度対応に追われま

「許すな！安倍改憲発議」をハンドマイクで訴えらると、署名に賛同いただいた方から「王子生協病院の健診で、がんの早期発見。治療も無事に終わり、今は元気になりました。お世話になりました。」の声を聞かれました。

「許すな！安倍改憲発議」をハンドマイクで訴えらると、署名に賛同いただいた方から「王子生協病院の健診で、がんの早期発見。治療も無事に終わり、今は元気になりました。お世話になりました。」の声を聞かれました。

〈組合員の資格および脱退・減資について〉

※東京都に住所または勤務地を有する方は組合員となれます（定款第6条）。転居やお亡くなりになられた場合はご連絡ください。
※当医療生協からの脱退・減資につきましては、定款第10条（自由脱退）および第17条（出資口数の減少）によって、事業年度末の90日前（12月31日）までにご連絡をいただき、年度末（3月31日）に処理させていただきますことが基本となっております。お困りの事があれがお気軽にご相談ください。
東京ほくと医療生活協同組合 本部組織部 TEL：03-3913-9100

*国連がかかげる目標（SDGs）に対する認知度の高まりは、従来からわれわれが主張し、追求してきた運動を後押しするものとなっています。

*沖縄県民投票で「辺野古新基地埋め立てノー」の民意が示されたにもかかわらず、基地建設は強行されるなど、安倍政権の暴走が止まりません。民意を無視した政治にストップをかけること、憲法9条の改悪阻止の運動も引き続き重要となっています。

*今年は一斉地方選挙と参議院選挙の年であり、私たちの要求実現の絶好の機会です。

2. 経営環境

*国民生活をめぐる状況が悪化する中で、社会保障制度のさらなる見直し、改悪が進められようとしています。消費税10%増税がもし実施されるなら、景気の後退傾向に拍車をかけ、患者・利用者の受診、利用抑制が進み、命にかかわる事態さえ招きかねません。

*働き方改革関連法による労働環境の悪化が懸念される一方で、有給休暇年間5日取得の義務化、人手不足を背景にした高齢者雇用、外国人労働者の増加、AIの活用など、労働環境が大きく変化し、事業者も難しい対応が迫られることとなります。

*医師、看護師、介護職員等の不足状況は当面続くと予想され、人材をどう確保し、養成、定着を進めるかが経営における重要課題となります。

*医療機関、事業者間の競争激化はますます進むと考えられますが、一方で地域開発による人口増に対応することで、新たな患者・利用者を確保できるチャンスにもなります。

3. 地域まるごと健康づくりに貢献します。また地域にとって役に立つ組織になります

(1)健康づくり

- ①運動の担い手となるインストラクターを養成し、フレイル予防と健康寿命を伸ばす取り組みをすすめます。
- ②他団体と協力し健康チャレンジ参加者1,000人を目指します。
- ③ヘルスプロモーションの取り組みを全体に広げ、さらなる健康づくり活動の飛躍をめざします。
- ④各自治体と健診のあり方をはじめ、健康づくりの取り組みについて懇談を行います。
- ⑤組合員の健診受診率向上をめざして「個人別健診年間計画表」の普及をすすめます。

(2)たすけあい

- ①全支部でのサロン開催を追求しつつ、可能な支部は社協・商店街・地域団体にも協力を呼びかけ、共同でサロン開催やたまり場が開設できるようにします。
- ②東京ほくととして「ささえあいカード」の活用をはじめます。

(3)平和・社会保障

- ①安倍政権がすすめるようとしている憲法9条の改悪を許さず、憲法を守りいかに運動を進めます。
- ②消費税10%増税の中止と高すぎる国民健康保険制度の改善運動に取り組みます。
- ③「社保平和学校」を継続開催します。医療と介護の現場の事例から、人権や制度改善の重要性を学ぶ取り組みをすすめます。
- ④原水禁世界大会、ピースアクションinヒロシマ、日本高齢者大会（福島）に取り組みます。
- ⑤「なんでも相談会」を継続して取り組みます。
- ⑥「くらしの相談員」の養成をすすめます。

4. 患者、利用者みなさんに親切で安心のサービスを提供します

- ①室料差額のないベッドをフルに活用していただけるよう紹介先との連携を広げます。
- ②病院の無料低額診療事業を一人でも多くの方に利用していただくように広報活動を強化します。また荒川区と足立区の診療所でも事業開始の準備を進めます。

- ③さらなる在宅医療の拡大をめざします。
- ④事業所利用委員会が主体となり事業所見学やホームページの閲覧を行ない、必要な提言を行ないます。
- ⑤すべての職場で患者、利用者の満足度を高める取り組みを進めます。

5. 地域組合員と職員組合員の育ちあいの人づくり

- ①通信教育を支部と職員に位置づけて取り組みます。
- ②comcom、理論誌、民医連医療、いつでも元気を職員と支部運営委員に普及します。
- ③医療生協、民医連の交流会や研修会に組合員も職員も積極的に参加を位置づけます。

6. 働きやすい職場づくりと人づくり・後継者確保

- ①医師の時間外労働の減少、労働の軽減を進めます。
- ②医師部門の事務体制を強化して、確保、養成、定着の取り組みを進めます。
- ③階層別制度研修は90%以上の職員が参加するようにします。
- ④民医連綱領学習運動に取り組みます。

<後継者確保の目標>

医師 (初期研修医2人、後期研修医2人、既卒 2人)
 医学生奨学生 (2人増)
 看護師 (新卒9人、既卒5人)
 リハビリ (新卒3人、既卒3人)
 介護職 (10人)
 事務 (1人)

7. 当期利益で黒字を確保し、累積赤字の解消を進めます。出資金を増やして、自己資本を強化します

- ①医師の経営参加を強めます。
- ②全事業所の黒字化、部門別の予算管理（指標管理）を強化し必要利益確保をめざします。
- ③第二次中期計画最終年度の実践をすすめながら、第三次中期計画の検討を進めます。
- ④生協北診療所の建設計画の検討を進めます。

8. 生協の拡大強化

2019年度目標			
・仲間増やし	2,000人	・班会開催	1,200回
・出資金増やし	1億5,000万円	・担い手増やし	150人
・班づくり	55班	・増資参加者数	3,600人

- ①全支部と全職場で、仲間増やしと増資の毎月の目標をたてて取り組みます。
- ②「東京ほくと年間企画案内」を活用し、仲間増やし、担い手増やしをすすめます。
- ③組合員活動の担い手を増やします。
- ④支部活動の手引きをつくり支部活動の活性化をはかります。
- ⑤1,000世帯以上となっている10の支部について、新支部づくり（支部分割）の取り組みをすすめます。

第79回通常総代会

日時：2019年6月29日（土）午後1時開会

会場：滝野川会館大ホール

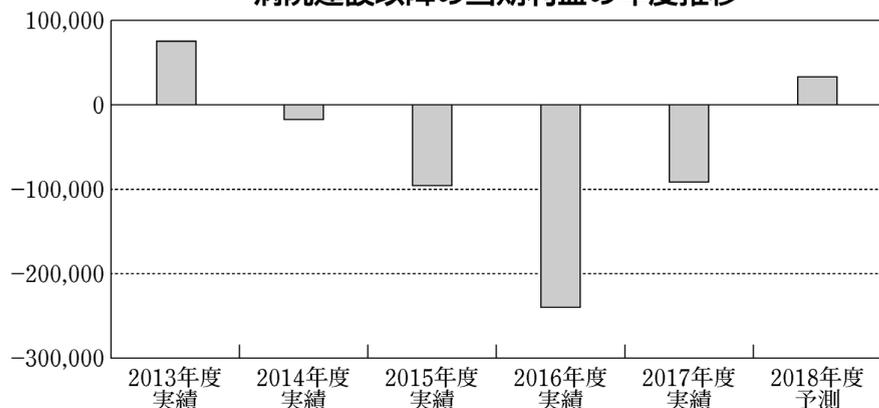
(北区西ヶ原1-23-3 電話03-3910-1651)

4. 2018年度決算

(1) 5年ぶりに当期利益確保の見通し

- ① 2月累計（決算修正前）で、経常利益82百万円の黒字、当期利益は34百万円の見通しです。3月の実績と決算修正等で決算を確定していきます。
- ② 予算提案段階で黒字予算まで積み上がらなかったことから一時金を2.0ヵ月とせざるを得ませんでした。職員の奮闘、組合員の協力により予算を超過達成できたことから、3月に年度末一時金支給を行います。
- ③ 2018年度は経営をめぐる特別に厳しい状況にあることから、職員向けの経営説明会を開催し147人（常勤職員比率36%）が参加しました。総代会においても当期利益の黒字絶対確保と赤字事業所の改善、さらには賃金労働条件見直しも避けられない状況であることを説明しました。
- ④ 理事会アピールを出して、経営困難打開にむけて組合員に事業所を利用していただくこと、職員紹介、増資などの協力を呼びかけました。

病院建設以降の当期利益の年度推移



(2) 経営管理の前進

- ① 生協北診療所と荒川生協診療所は部門別に経営状況をわかるようにしました。
- ② 病院と診療所には、医療機器、検査機器ごとに稼働目標を決め、日常的な稼働追求を呼びかけました。

(3) 赤字克服の取り組み

- ① 王子生協病院は今期診療報酬改定への対応を進めたことにより、前年度対比で1億3千万円の増収となり（そのうち入院収益は1億円）、経常利益で1億円を超える改善となり、病院単独で黒字化するところまで到達しました。
- ② 江北生協診療所は、厳しい経営実態を本部と職員とが共有した上で、経営改善の意思統一をはかりながら、前年比で大きく改善を進めることができました。重点としていた在宅患者件数も徐々に増えてきています。
- ③ 介護職責者会議では毎月事業所ごとの経営評価を行い、経営課題を明確にしながら取り組みを進めてきました。訪問介護はケア内容の見直しにより生活援助中心型から身体介護への転換を進めています。通所介護・通所リハビリは新規利用者確保、居宅支援事業所はケアプラン数を上限まで確保する努力を進めました。江北生協診療所の居宅支援事業所を法人的事業再編の中で居宅わかばに統合しました。ひまわりの家、虹の家は満室維持の努力を進めました。
- ④ デイサービスなどでこは一日当たり利用者を15人目標として取り組んできました。営業、宣伝物の作成等で登録者は徐々に増えていますが、目標には到達していません。事業のあり方も含めた検討が必要です。介護事業全般に共通していますが、介護職の人材不足が大変深刻となっています。東京都の制度なども活用し引き続き職員確保を進めます。

(4) 賃金労働条件見直しの課題

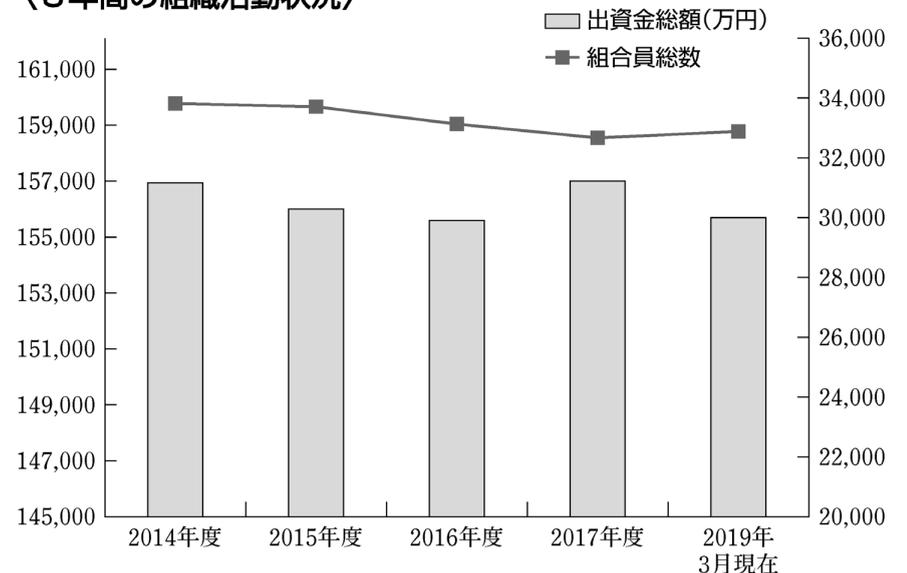
- ① 東京民医連経営対策委員会の指導のもとに、東京ほくとの中期5ヵ年の経営計画の検討を進めています。医師をふくめた検討を進めて、次期総代会に提案します。
- ② 賃金労働条件見直し課題は、その計画の中で判断をしていきます。

5. 組織拡大・強化

	2018年度目標	2019年3/15到達	2017年度到達
仲間増やし	2,000人	1,245人	1,427人
出資金増やし	1億5,000万円	1億0,010万円	1億1,212万円
班づくり	55班	7班	14班
班会開催	1,500回	953回	1,254回
担い手増やし	139名	49名	73人

- ① 仲間増やしが前進している支部は、毎月の目標をもって目的意識的に取り組んでいるという特徴があります。また地域訪問を継続している支部では、訪問先で相談をもちかけられたり、事業所紹介や班会・企画に誘うことで生協加入につながるなどの経験も生まれています。引き続き様々なつながりをいかしての声かけ（地域生協・町会・シニアクラブ・旅行・サロン・趣味のつながりなど）が大切です。
- ② 今年度4つの支部で新しい運営委員を迎えることができました。
- ③ つながりマップ、新支部づくりは取り組みが不十分です。支部のあり方も含めて討議を深める必要があります。
- ④ 22支部で49人の新たな担い手が誕生しました。担い手ががしの訪問行動に取り組んだところで増やすことができます。
- ⑤ 支部長学習交流集会で、班会が孤立予防に役立っていること、見守りにもつながることなどが確認できました。事業所の職員が「班会」や「サロン」につなげていこうという意識も高まりました。
- ⑥ せ〜の集会は131人（組合員60人、職員71人）が参加しました。生協強化月間は10月-11月を仲間増やし、12月を年末増資行動と位置づけ、健康チャレンジと一緒に取り組みました。月間到達は883人（月間期間中拡大数は330人）となり、年末増資行動は132人（組合員86人、職員46人）が757軒を訪問し、278万円の増資を集めることができました。
- ⑦ この間重視してきた積み立て増資は、昨年の562人から577人に増えました。一方で増資参加者は昨年の3,500人（全組合員の10.7%）から3,200人（同9.7%）に減少しており、いかに増資参加者を広げられるかが課題です。

<5年間の組織活動状況>



2019年度方針(案)

- 東京ほくとの地域包括ケア（安心して暮らし続けられるまちづくり）の具体化を事業と地域活動の両面から進めます。そのためにも生協の組織拡大と強化を進めます。
- 東京ほくと医療生協が事業と地域活動で貢献するためには経営の安定化が大前提です。当期利益でなんとしても黒字確保をめざします。
- 社会保障の充実と憲法改悪を許さないたたかいをすすめます。

1. 情勢の特徴

* 貧困と格差、高齢化と人口減少、孤立、認知症が社会問題となる中で、東京ほくが活動する地域において、だれもが安心して住み続けられるまちづくりをすすめることが、ますます切実となっています。

す。無料低額診療や生活保護につながる事例もあります。(2018年度相談件数：北区75人、荒川区20人)

③だれでも相談にのれるように「相談員養成講座」の準備を進めています。

(4)社会に働きかける運動 社保・平和・まちづくりの活動

- ①憲法9条改悪阻止、消費税10%増税阻止、その他社会保障の充実を求める署名などに取り組みました。健康まつりでも署名コーナーを設置して協力を呼びかけました。
②総がかり行動(立憲主義を守る・戦争法廃止・脱原発・貧困NO)や憲法集会、国会要請、自治体交渉などに取り組みました。
③社保平和学校を3回(「東京原発」上映会、北区戦跡めぐり、ハンセン病学習会)開催し延べ112人が参加しました。日本高齢者大会(26人)、ピースアクションインinヒロシマ(6人)・原水禁世界大会(8人)などに取り組みました。
④高すぎる国保料を選挙の争点にするために国保に関する各会派の政策アンケートに取り組みました。

3. 事業活動

(1)診療報酬と介護報酬の改定対応

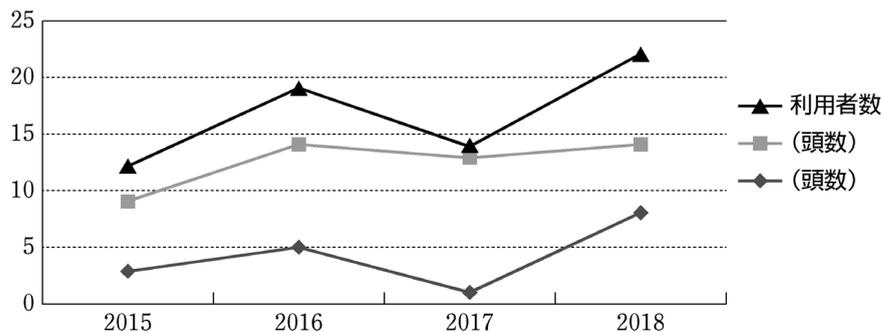
- ①4月の診療報酬改定率は本体プラス0.55%、薬価・材料価格マイナス1.74%、介護報酬改定率はプラス0.54%となりました。
②入院に関しては急性期一般4(7月)、回復期リハビリ1(6月)、緩和ケア1(4月)、地域包括ケア1(6月)の算定を開始しました。それ以外に訪問リハビリの開始をはじめ、夜間看護体制加算、機能強化加算(外来)、包括的支援加算(在宅)、救急搬送看護体制加算(外来)、後発医薬品体制1等の算定も開始しています。
③診療所においては、外来初診料への機能強化加算の算定が中心でした。
④在宅医療分野においては、在宅患者の医療必要度に応じた報酬が設定されました。
⑤介護報酬改定に関しては、通所系事業の営業時間区分が2時間から1時間に変更し実質引き下げとなったことへの対応、入院時情報連携加算や退院退所加算等の積極的算定、訪問介護サービス内容の見直しなどがありました。

(2)在宅医療体制の整備

- ①休日や夜間の在宅患者さんの対応に関して、医師体制の一元化をはかり一定の負担軽減が進みましたが、看護師体制については退職等で職員数が減ったことで一部の職員に負担がかかる状況になっています。また緊急で往診に行く必要が生じた場合にタクシーを利用して患者宅まで赴くこととしていますが、かねてから運転手配置が必要とされてきましたので、それらの改善を検討中です。
②東京ほとがカバーする在宅医療のエリアを広く知らせ、患者、家族、関係各機関の方々に満足していただけること、信頼を高めるための在宅医療のさらなる質向上をめざします。

(3)無料低額診療事業

- ①王子生協病院における無料低額診療事業の実績は以下の通りです。より多くの方がアクセスできるような工夫を進め、一人でも多くの方に利用してもらうようにする必要があります。
②第二次中期計画の方針でもある診療所における無料低額診療事業は、足立区と荒川区で1ヵ所ずつの事業開始をめざしましたが、医師体制や事務長体制問題もあり検討が進んでいません。



(4)医師確保、養成、定着の取り組み

2017年から続いている診療所長の退職を総括し、医師確保と養成、定着の取り組みを進めました。
①2019年度の初期研修医は1人、後期研修医は2人、既卒医師は小児科常勤医師(王子生協病院、2018年10月)と総合内科医(汐入

診療所所長、2019年5月着任)を採用することができました。2018年度後期研修を修了する医師2人が2019年度常勤医として勤務を開始します。

- ②2018年度認可されなかった王子生協病院の総合診療専門医の研修プログラムは再度申請して受理されました。
③診療所統括所長が決まり医師幹部体制が補強されました。医師キャリア支援委員会を新設し個々の医師のキャリア形成や悩みに応えられる機能を果たせるようになりました。医師の過酷な労働条件が社会問題となる中で、医師の時間外労働の算定を開始しました。労働の評価を適正に行うとともに医師労働の軽減にむけて取り組みを進めなければなりません。当面書類作成業務の体制強化が課題となっています。

(5)後継者確保と養成(実績とカッコ内は目標・単位一人)

Table with 4 columns: Category, 初期研修医, 後期研修医, 中途採用. Row 1: 医師, 1(2), 2, 2(4)

医学部奨学生は現在2人、山口大学、弘前大学のいずれも4年生です。

Table with 4 columns: Category, 2019年度卒(目標), 既卒(目標), 備考. Rows: 看護師 (6(6), 常勤2, 非常勤2), リハビリ (2), 介護職 (0(0), 非常勤6(10), 派遣3), 事務 (2, 2, 派遣3)

- ①事務育成の遅れを克服すべく、事務育成委員会をスタートして、めざすべき事務像、新人採用計画と配置方針、ローテーションの進め方、経験年数ごとの習得すべき資質と技量(ラダー)の見直しなどの検討を進めました。
②介護教育委員会は、事業所の職責者をメンバーとして、現場で使える法人のキャリアパスとなるように見直しの検討を進めています。

(6)階層別制度研修

- ①今期から一定の予算をとって外部講師による研修会を始めました。概ね高評価を得ています。
②理事監事研修会と管理者研修会は十数年ぶりの開催となりました。

Table with 5 columns: Category, 開催回数, 参加者, 参加率, 獲得目標. Rows include 理事監事研修会, 管理者研修前期, 管理者研修後期, 職責者研修前期, 職責者研修後期, 新入職員研修, 新入職員フォロー研修, 若手職員研修(5年目まで), ベテラン職員研修(6年目以上), パート研修

(7)運営の改善

- ①本部役員室と本部総務経理の事務室を病院内に移動して連携改善につながっています。また対外的な対応改善をめざして応接室を新設しました。
②法人報を毎月発行して、経営結果、本部の動き、採用活動進捗、重点方針などの見える化を進めました。

(8)災害支援、災害対策

- ①王子生協病院は災害連携協力病院として地域での役割が求められます。ここ数年、災害に関する研修会参加や事業所ごとの災害訓練等を実施してきていますが、改めて法人内の到達をふまえるとともに、自治体ごとの防災計画も念頭に入れて課題整理を進めています。いつ何時発生するかわからない状況に備えて、まずは連絡体制(連絡網と連絡方法)の確立を急ぎます。
②西日本豪雨災害には5人のボランティアを派遣、募金は436,501円を全日本民医連と医療福祉生協連を通じて現地に送りました。北海道胆振地震の義援金募金は114,571円でした。

東京ほくと医療生協

2018年度まとめと2019年度方針(案)

2018年度のまとめ(案)

1. 重点課題の振り返り

(1) 東京ほくとの地域包括ケア(安心して暮らし続けられるまちづくり)の具体化と生協組織の拡大・強化

病院においては障害者病棟を地域包括ケア病棟に転換したことで、入院治療を終えた患者さんがスムーズに在宅復帰に移るための支援機能や通院患者や在宅患者さんなどの病状悪化への緊急入院対応の機能を今まで以上に強化することになりました。認知症の患者・家族を支える認知症カフェも始まりました。

組合員活動においては、多彩な健康づくりの活動が広がってきたこと、孤立防止につながるサロン活動は37支部中19支部、21ヵ所に広がり、地域生協をはじめとした他団体との交流も広がってきています。また、病院のそばに地域に開かれた多目的ルーム「なないろ」を開設したこと、汐入地域食堂の取り組みも始まりました。

東京ほくとの地域包括ケアの具体化をめざし「地域ケアサポート委員会」を立ち上げ1年が経過しました。地域包括支援センターや社会福祉協議会(以下「社協」と)との懇談、「ささえあいシート」の活用で組合員の多彩なたすけあい活動が見えてきました。それは支部長学習交流会でも確信となり福祉たすけあい委員会で活用の準備を進めています。

「孤立しない、健康に老いることのできる、まちづくり」が広がる中で、今までつながっていなかったご近所さんや地域の団体とのつながりは、新たな仲間づくりの可能性を広げています。

(2) 経営の安定化

経営については、2013年度以来5年ぶりの当期利益が見込める状況です。一時金の水準の問題はありつつも、病院は単独で黒字化することができました。長年赤字が続いていた江北生協診療所も所長はじめ職員の奮闘により赤字克服が見通せる状況に至っています。介護事業群は赤字ですが、この間の努力で前年度より赤字を縮小しています。一方、診療所は大幅な経営悪化となりました。常勤医師体制が弱まったことが大きく影響していますが、事務長兼務状態や看護師不足などの問題がさらに困難を増す要因となっています。

(3) 憲法9条を守り、いかす運動の取り組み

憲法9条を守る運動は、法人全体で改憲阻止の署名に取り組み、現在6200筆に広がりました。この一年の国民的運動の高まりは、安倍政権が目論んでいた改憲の発議を未だにさせない状況を作り出しました。引き続き東京ほくととしては1万筆の署名達成をかけた、学習と運動を広げ「憲法守れ」の声を圧倒的多数にしましょう。

(4) 赤羽東診療所の閉院

30周年をむかえた赤羽東診療所が、年度末で閉院となりました。所長確保で様々な努力を積み重ねてきましたが、所長配置に至らず苦渋の決断となりました。長年診療所を支えていただきました歴代の理事や支部運営委員の皆さん、そして組合員と地域の皆様の期待に沿えることができないことに心よりお詫びを申し上げます。

引き続き東京ほくとの医療機関を希望される通院患者さんには、王子生協病院と生協北診療所の受診につなげていきます。また「ほっとカフェ」を拠点とした健康づくりの活動は引き続き継続、発展させていく決意です。

2. 医療福祉生協の活動、東京ほくとの地域貢献活動

(1) 地域まるごと健康づくり、ヘルスプロモーション活動

- 食と運動、すこしお、フレイル予防の観点で取り組みました。
- ①毎週連続開催(9回)の「転ばん塾」には30人が登録、延べ214人が参加しました。リハビリスタッフが毎回2人参加。運動サポーターにも協力をいただきました。荒川地域では転ばん体操が継続して取り組まれています。
- ②健康づくり学校の「荒川教室」を開催し8人が登録し、延べ24人が参加しました。健康づくり委員は現在511人となっています。地域運営委員会ごとに健康づくり委員会を立ち上げる準備を進めています。
- ③健康チャレンジはキッズチャレンジにも取り組み、635人が参加しました。チャレンジ報告会ではスクエアステップの体験会も行ないました。
- ④健康チェックは17,826件(2/28現在)実施しました。世界保健デーでは3区で200人以上の健康チェックを行ないました。コープみらい班会や生活クラブ生協のサロンに呼ばれて健康チェックを実施したり、パルシステム東京が病院の健康まつりに参加するなど地域生協との交流が広がりました。
- ⑤今年はこちらのすこしお料理教室にも取り組みました。
- ⑥多目的ルーム「なないろ」では、リハビリ職員の指導のもと毎週健康体操を実施しています。オープンにあたっては地域の町会、商店街を訪問し、町会提示版や回覧板でもお知らせしていただきました。
- ⑦王子生協病院HPH推進委員会で地域の状況を把握するために地域診断を実施しました。豊島5丁目団地の地域診断では、組合員だけでなく地元商店会長や地域包括支援センターの職員から地域が抱える問題を聞くことができました。
- ⑧「HPHいきいき健康フェスティバル」を東京ほくと医療生協、東京保健生協、健康文化会の3法人合同で開催。東京ほくとからは150人(全体で900人)が参加し組合員と職員が健康づくりの演題を発表、認知症寸劇やサロン出店もおこないました。カーレットやスクエアステップは組合員の注目を集めました。

(2) たすけあいの活動の充実

- ①認知症サポーター養成講座を3区で開催し、153人が修了しました。現在までの受講者数の累計は、組合員が約600人、職員は70人となっています。王子生協病院と荒川生協診療所で認知症カフェが始まりました。
- ②福祉助けあいまつりには260人が参加し、すべての理事会専門委員会が参加しました。
- ③支部ニュースは19の支部で発行されています。すべての支部でのニュース発行とホームページでの掲載は今後の課題です。
- ④今年新たに開設したサロンは「きたカフェ」(生協北診療所敷地内)とさくら荘サロン(鹿浜診療所さくら荘)でした。3区で取り組まれている東京ほくとのサロン(21ヵ所)と社協等が位置づけるたまり場を紹介するマップを作成しました。
- ⑤2ヵ所で子ども食堂を定例開催しています。「としま虹」一豊島虹のセンター(2018年度延べ参加者1509人)、ななほし子ども食堂一荒川生協診療所3階(674人)。地元商店街、パルシステム東京、社協、フードバンクからの食材提供と多くのボランティアが参加し活動が広がっています。今年新たにひとり暮らしの男性を対象とした「汐入地域食堂」が診療所職員・組合員の協力と社協、包括支援センターの共同で10月より開始しました(169人)。

(3) 相談活動、つなぐ活動の取り組み

- ①病院における相談体制を確立して1年が経過し、次第に相談件数が増えてきています。地域での相談窓口として5支部が支部ニュースに連絡先を明記しています。引き続き相談受付と連絡先を明記できるように協力を呼びかけていきます。
- ②3区で行われている社協主催の「なんでも相談会」に東京ほくととして継続して参加しています。組合員の協力で事前のビラ配布や、地元掲示板でのお知らせにより、相談者が増えてきてい

通信

(敬称略)

西尾久 小林清子(72)
3月号通信は西尾久から3人、ビックリ。舎人の北原さん元気な赤ちゃんを待っています。

舎人 川崎美恵子(75)
主人が診療所にお世話に。夜間診療で親切に診てもらって喜んでいます。

伊興 岩田春江(67)
今年は眼の手術の予定です。精密検査をして夏頃かなと思っています。

西尾久 菊地サチ子(86)
新年度から「昨日の日記」を書くことにしました。

西ヶ原 大栄美喜子(96)
あじさい荘の喫茶店「あい」をご利用ください。

西尾久 植村一子(84)
毎朝ラジオ体操に参加、日常は執筆活動しています。

江戸時代の宿場町、千住に行きました。趣のある古い建物が当時の雰囲気を醸し出しています。骨接ぎの名医・名倉醫院の黒い建物とピンクの梅の花がとてもよく似合っています。
(浜野 妙)



◎転居及び氏名変更、お亡くなりになられた場合はご連絡ください。(組織部3913-9100)

豊島 中西洋子(68)
我が家の老ネコ、私が旅行で留守をして「たいたい」というと「ニャー」ではなく「フーッ」と怒りの表情。

志茂 神田節子(68)
新聞の切り抜きを始めました。月・花・料理・スナックなどです。

王子本町 小山由美子(72)
三角公園に桜(沖繩の)が満開、きれいでしたよ。

王子 中澤政子(75)
暑さ寒さも彼岸まで。桜の開花が待ち遠しい。

町屋 久道和男(73)
一定の年収以下の人に国保料は無料にして病院にかかれる国にしたい。

王五 若林ふさ子(68)
ハンセン病回復者の山内きみ江さんのお話に心打られました。

志茂 吉原宗夫(82)
長い間、診療していたいた診療所が3月末で閉院した。

触診とエコー検査の後「頑張りましたね」と言われ、薬が効き腹痛も治りました。

豊島 折原のり子(80)
パズルやクイズが三度のご飯より好きです。

伊興 日木章子
真壁のひな祭りを見に行きました。街中がひな祭り

王子 井伊幸子(69)
3歳まで一緒に暮らした双子が幼稚園を卒園。

王子 稲垣美智子(71)
春が来ます。元気に散歩

に出かけましょう。新田 荒川雪江(60)
こんなにかわいいハガキがパソコンで作れました。

王五 田代幸子(70)
フキノトウ、タラの芽、こごみ、ウドなど春の香りが届きました。

西新井本町 斉藤直江(69)
春ですね、やっと桜が咲きました。

舎人 北原和子(41)
妊娠の経過は順調です。

町屋 為我井雅子(77)
消費税10%は死活問題。

江北生協診療所「開設20周年記念祝賀会」を開催

地域の健康とくらしの拠点に

3月16日(土) 下沼田町公会館に於いて、江北生協診療所「開設20周年記念祝賀会」が開催されました。雨

の予報があった中で、なんとか天候に恵まれ、87人という大勢の方々に集まってくれたこと、感謝の気持ちで

いっばいです。開催にあたっては、足立西部の両支部とも話し合いながら実行委員会を結成。8回におよぶ実行委員会を開催し、当日にむけた準備をすすめてきました。

当日はオープニングのまつり盛り上がりがあったあと、松本和彦実行委員長による開会のあいさつ、来賓のあいさつをはじめ、感謝

江北生協診療所は、1998年3月の開設以来、江北地域・扇地域・西新井地域を中心に医療と介護の活動と組合員活動を発展させてきました。これもみな

皆さまのおかげです。この20周年を機に新たな気持ちでこれから地域域の健康とくらしを守る活動を発展させていきます。今後ともみなさまのご支援とご協力をお願いいたします。

(事務長・加藤 智)

介護職員募集!

短時間、週1~2日からでも大歓迎です。介護に興味のある方、職場見学&体験に来てみませんか? 概ね55歳までの方、無資格の方も大歓迎です。

【募集の事業所】	
・ヘルパーステーションのぞみ(訪問介護)	北区豊島3丁目
・ヘルパーステーション虹(訪問介護)	荒川区荒川4丁目
・デイサービスセンターなでしこ(通所介護)	荒川区西尾久8丁目
・ほくとひまわりの家(グループホーム)	北区西ヶ原2丁目

【時給】
訪問介護(事務所職員)：1,260円~1,600円
訪問介護(登録型)：1,400円~1,700円
通所介護&グループホーム：1,030円~1,190円
別途、資格手当・処遇改善手当がつきます。

問い合わせ先 電話:03-3927-8864
福祉事業部 担当:西村

第369回 パズル

〈ヒント〉王子駅前の桜の名所
〈とき方〉二重ワクの5文字を並べるとある言葉になります。それが答えです。
〈応募方法〉ハガキに答え、住所、氏名、年齢を書いて〒114-0003 北区豊島3-7-1 東京ほくと医療生協「機関紙」編集部まで東京ほくとホームページからも応募できます。
〈しめきり〉4月25日。

正解者の中から5名様に図書券を贈呈します。尚、ハガキの余白に簡単なお便りを書いて頂ければ幸いです。お名前、年齢をご紹介しますので匿名希望の方はその旨明記下さい。〈抽選対象外〉

〈前回の答え〉ヒシモチ
(当選者) (応募33)
川崎美恵子、植村一子、望月留美子、吉原宗夫、大栄美喜子

6-7月にかけて開花、紫・青・白など、土の成分によって色が変わるとか...

鮮やかな黄色の花が咲く。一重と八重がある。

野山に咲く紫色の可憐な花

フラワーアレンジの名脇役。花言葉は「無垢な愛」「感謝」



太鼓の音でオープニング



獅子に頭をかんでもらい厄除け

外来診療体制のご案内

4月1日現在の体制です(詳しくは、病院・診療所にお問い合わせ下さい)色文字=女性医師

王子生協病院

北区豊島3-4-15 診療予約専用電話 03-3912-7248 3912-2201 健康診断予約専用電話 03-3912-5181

実施予防接種は、病院・各診療所にお問い合わせ下さい

Table with columns for days of the week (月, 火, 水, 木, 金, 土) and times (午前, 午後, 夜間). Rows include various medical departments like 内科, 家庭医診療科, 小児科, etc.

[受付時間]午前8:45~11:30/午後1:45~4:00/夜間5:15~7:30 【心】=心療内科、【呼】=呼吸器内科、【循】=循環器内科

救急・急患の方は随時受け付けています。

生協北診療所

北区東十条2-8-5 3913-5271

Table with columns for days of the week (月, 火, 水, 木, 金, 土) and times (午前, 午後, 夜間). Rows include 内科, 専門, 胃内視鏡.

[受付時間]午前8:30~11:30、午後1:00~4:15、夜間4:45~7:00 【神】=神経内科

透析センター 3912-9334

生協王子歯科

北区豊島3-19-3 3927-9573

Table with columns for days of the week (月, 火, 水, 木, 金, 土) and times (午前, 午後, 夜間). Rows include 午前, 午後, 夜間.

[予約時間]午前9:00~12:00 午後1:30~4:30 夜間7:30まで ※週によって担当医が変わります。詳細は受付まで [往診]月~金

荒川生協診療所

荒川区荒川4-54-5 3802-2601

Table with columns for days of the week (月, 火, 水, 木, 金, 土) and times (午前, 午後, 夜間). Rows include 内科, 専門.

[受付時間]午前8:30~12:15 午後1:30~4:00 夜間5:00~7:30

[定期往診]午後=月・火・水・木・金

歯プラン販売 4月 3日、13日、18日、24日 「特売日」 5月 8日、18日、22日、28日 組合員の方、組合員証の提示をお願いします。価格は窓口にお問い合わせ下さい

鹿浜診療所

足立区新田2-4-15 3912-8491

Table with columns for days of the week (月, 火, 水, 木, 金, 土) and times (午前, 午後). Rows include 午前, 午後.

[受付時間]午前8:45~12:00、午後3:00~6:00

[定期往診]午後=金、午後=火・水・金

生協浮間診療所

北区浮間3-22-1 3558-8361

Table with columns for days of the week (月, 火, 水, 木, 金, 土) and times (午前, 午後, 夜間). Rows include 午前, 午後, 夜間.

[受付時間]午前8:40~12:00、午後1:40~4:15、夜間5:40~7:45

[定期往診]午前=月・水・木・金、午後=月・火・水・金

江北生協診療所

足立区江北2-24-1 3857-6636

Table with columns for days of the week (月, 火, 水, 木, 金, 土) and times (午前, 午後). Rows include 午前, 午後.

[受付時間]午前8:40~12:15、午後2:10~6:00

[定期往診]午後=月・金

汐入診療所

荒川区南千住8-10-3-101 3807-2302

Table with columns for days of the week (月, 火, 水, 木, 金, 土) and times (午前, 午後, 夜間). Rows include 午前, 午後, 夜間.

[受付時間]午前9:00~12:00、午後2:00~4:30、夜間5:30~7:30

[定期往診]午前=月・木(1・3週)、午後=月・火・水・木

北足立生協診療所

足立区入谷3-1-5 3896-9971

Table with columns for days of the week (月, 火, 水, 木, 金, 土) and times (午前, 午後, 夜間). Rows include 午前, 午後, 夜間.

[受付時間]午前8:40~12:00、午後1:40~4:15、夜間5:40~7:45

[定期往診]午後=月・火・水・木・金

お知らせ 債券の新規募集は行っていません。尚、現在ご協力いただいている債券の更新については引き続きご継続をお願いいたします。

看護補助者募集 資格:ヘルパー、介護福祉士、無資格者(経験あり) パート勤務希望者は相談に応じます。ヘルパー資格の介護者も非常勤で募集しています。 看護師募集 資格:正看護師 勤務形態:常勤(変則3交代夜勤) 休暇:4週8休、年始年末休暇、夏季休暇、有給休暇あり 王子生協病院 電話 03-3912-2201 (看護師長室/佐藤、乾、平井)